

2020年4月10日

境・桜堤にお住まいの皆様

第39回西部コミュニティ協議会住民総会
書面議決のお願い

西部コミュニティ協議会
会長 大上茂雄

陽春の候、地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第39回西部コミュニティ協議会住民総会を開催すべく準備を進めてまいりましたところ、ご存じのとおり新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため西部コミセンも休館となり、また、館内に多くの方が集うことでの感染のリスクも鑑み、例年どおりの地域の皆様に集まっていたく形での住民総会を開くことを断念いたしました。

つきましては、協議会を滞ることなく運営するため、今年度は総会資料の事前配布と書面による決議をもって住民総会とすることといたします。お手数をおかけしますが、事情をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

添付の「議決権行使書」に議案への賛・否に○をつけることで意思表示をしてください。意見・要望等は余白や裏面にご記入ください。記入後の議決権行使書は2020年4月17日までに西部コミセン事務室入り口横に備え付けてあるポストに投函してください。4月18日集計後、西部コミセン玄関等で結果を掲示いたします。

みなさまの健康とご多幸をお祈り申し上げます。

議 決 権 行 使 書

西部コミュニティ協議会御中

私は、令和2年4月18日に開催の第39回西部コミュニティ協議会住民総会の各議案につき、下記のとおり議決権を行使します。

記

議案	原案に対する賛否
報告事項	
(1) 2019年度活動報告	賛 ・ 否
(2) 2019年度会計決算報告	賛 ・ 否
(3) 2019年度特別会計決算報告	賛 ・ 否
協議事項	
(1) 2020年度活動計画案	賛 ・ 否
(2) 2020年度予算案	賛 ・ 否
(4) 会則改正案	賛 ・ 否
(5) 2020年度限定運営委員承認措置案	賛 ・ 否
(6) 運営委員の承認	賛 ・ 否
(7) 役員・監事の承認	賛 ・ 否

書面による議決権行使期限 令和2年4月17日迄

以上

住所：_____

氏名：_____ 印

第39回西部コミュニティ協議会住民総会

議案書

日時：2020年4月18日(土) 14:00～

場所：西部コミュニティセンター1Fロビー

次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 報告事項
 - (1) 2019年度活動報告
 - (2) 2019年度会計決算報告
 - (3) 2019年度特別会計決算報告
 - (4) 2019年度会計監査報告
4. 協議事項
 - (1) 2020年度活動計画案
 - (2) 2020年度予算案
 - (4) 会則改正案
 - (5) 2020年度限定運営委員承認措置案
 - (6) 運営委員の承認
 - (7) 役員・監事の承認
5. その他
6. 議長解任
7. 閉会

西部コミュニティセンター利用状況(月別・部屋別)

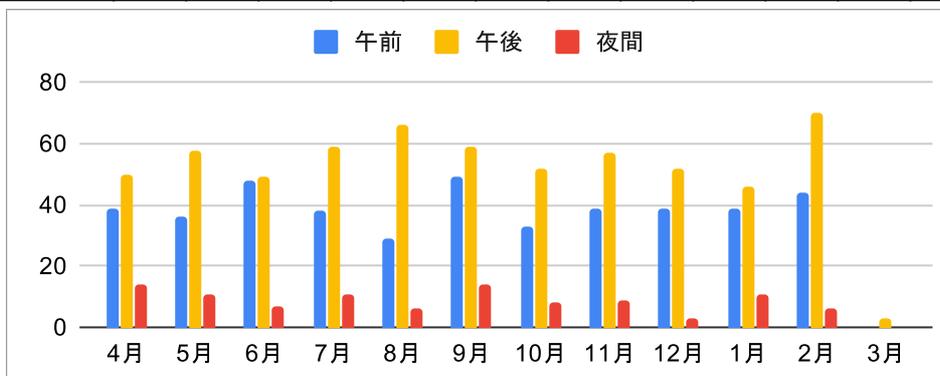
2019年4月～2020年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	25	26	26	26	26	26	25	26	24	22	25	1	278
ロビー	1,112	1,109	1,922	1,050	1,137	1,114	2,367	1,099	963	963	1,141	34	14,011
茶室(きく)	16	21	22	22	26	27	21	17	17	31	24	0	244
和室(うめ)	207	286	249	274	228	236	215	343	359	236	277	14	2,924
和室(もも)	167	197	209	280	210	148	170	262	301	215	341	10	2,510
和室(さくら)	172	217	234	275	219	208	206	205	285	219	240	0	2,480
大会議室	184	277	215	213	240	347	235	191	233	198	403	10	2,746
調理室	73	43	65	53	69	148	73	83	99	71	103	0	880
会議室A	278	317	350	328	322	336	224	321	343	371	325	10	3,525
会議室B	186	181	149	199	148	167	123	242	199	218	224	0	2,036
会議室C	312	238	294	304	314	419	332	303	243	265	371	10	3,405
学習室	41	67	43	37	74	52	39	83	31	21	18	0	506
体育室	1,852	2,022	1,936	2,023	1,443	1,925	2,364	2,325	1,813	1,464	1,717	61	20,945
第1多目的室	199	184	191	278	249	286	171	183	211	154	256	11	2,373
第2多目的室	185	141	101	269	262	189	142	142	134	159	150	0	1,874
視聴覚室	197	202	179	219	195	294	254	289	268	230	219	3	2,549
合計	5,181	5,502	6,159	5,824	5,136	5,896	6,936	6,088	5,499	4,815	5,809	163	63,008

各種部屋の月・時間帯別利用回数

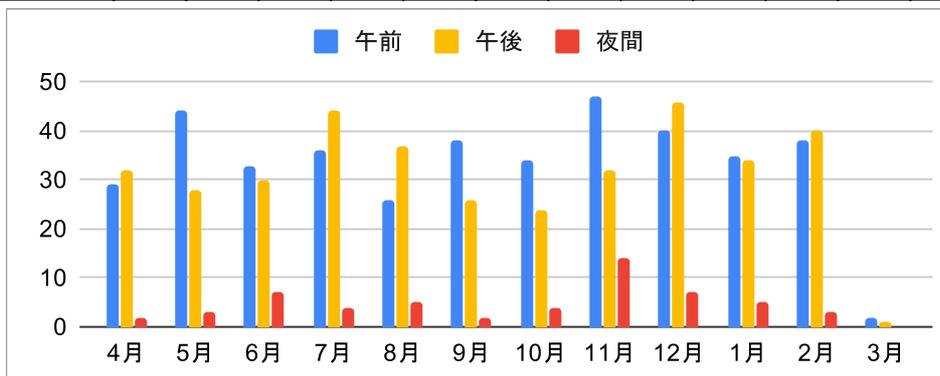
会議室(A・B・C・大)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	39	36	48	38	29	49	33	39	39	39	44	0
午後	50	58	49	59	66	59	52	57	52	46	70	3
夜間	14	11	7	11	6	14	8	9	3	11	6	0



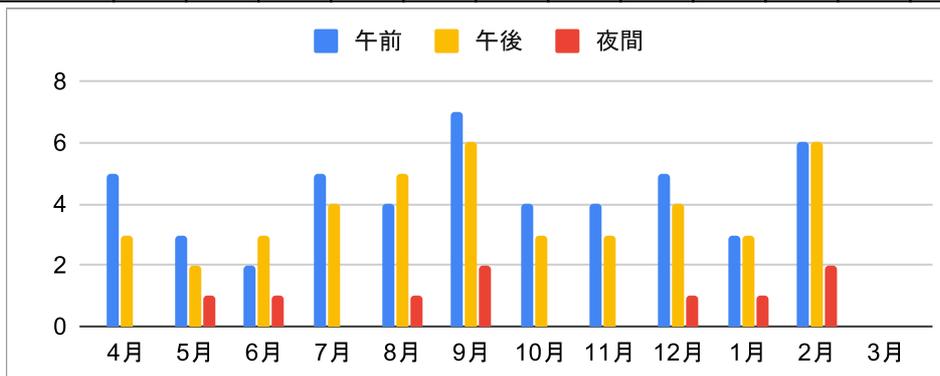
和室(うめ・もも・さくら)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	29	44	33	36	26	38	34	47	40	35	38	2
午後	32	28	30	44	37	26	24	32	46	34	40	1
夜間	2	3	7	4	5	2	4	14	7	5	3	0



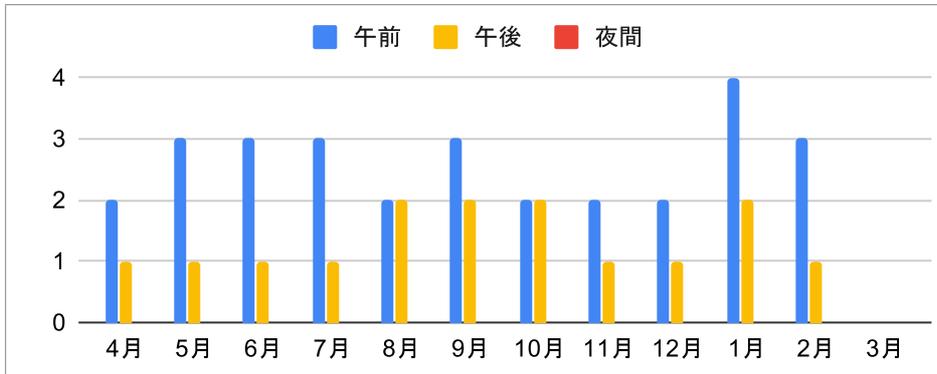
調理室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	5	3	2	5	4	7	4	4	5	3	6	0
午後	3	2	3	4	5	6	3	3	4	3	6	0
夜間	0	1	1	0	1	2	0	0	1	1	2	0



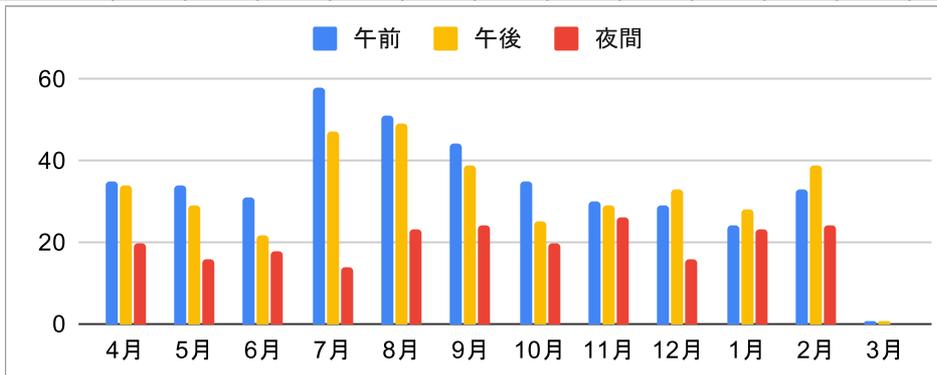
茶室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	2	3	3	3	2	3	2	2	2	4	3	0
午後	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	1	0
夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



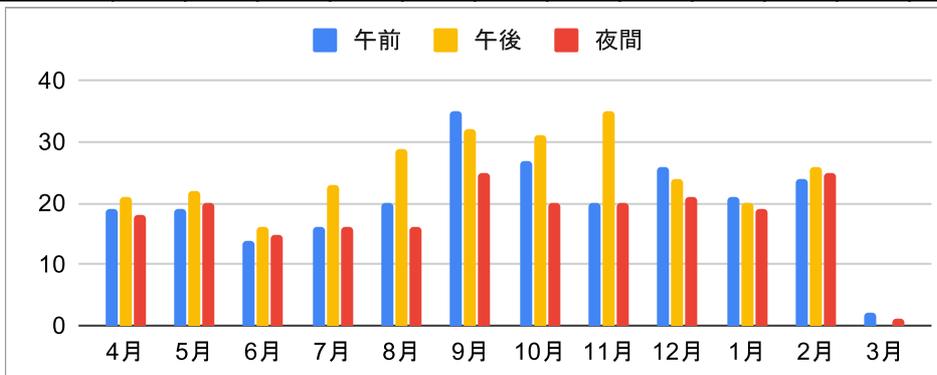
多目的室(1・2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	35	34	31	58	51	44	35	30	29	24	33	1
午後	34	29	22	47	49	39	25	29	33	28	39	1
夜間	20	16	18	14	23	24	20	26	16	23	24	0



視聴覚室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	19	19	14	16	20	35	27	20	26	21	24	2
午後	21	22	16	23	29	32	31	35	24	20	26	0
夜間	18	20	15	16	16	25	20	20	21	19	25	1



2019年度活動報告(一覧)

開催日	活動名	参加人数
4月13日(土)	第38回住民総会	63
5月11日(土)	第13回武蔵境ピクニック	561
5月15日(水)	地域懇談会+交流会	28
6月15日(土)	第9回コミセンまつり	893
6月28日(金)	パソコンセミナー	10
7月4日(木)	防災訓練	19
7月7日(日)	カラオケ大会	76
7月23日(火)	夏休みコミュニティ食堂	57
8月28日(水)		62
9月7日(土)	フレイル体操	13
9月21日(土)	ポッチャ大会	20
9月30日(月)	石鹼を手作りしてみましよう※	12
10月6日(日)	太極拳・気功の集い	51
10月26日(土)～27日(日)	文化祭	1309
11月7日(木)	運営委員研修会	25
11月10日(日)	バドミントンの集い	34
11月22日(金)	パソコンセミナー	11
12月7日(土)	年末大掃除	80
1月6日(月)	活け花実演	21
12月7日(火)	工作の会	25
1月18日(土)	どんど焼き(桜野小)	---
1月19日(日)	どんど焼き(二小)	---
1月25日(土)	健康づくり出前講座	10
2月12日(水)	バレンタイン@コミセンカフェ※	30
2月26日(水)	味噌づくり※	
2月27日(木)	運営委員研修	
3月5日(木)	防災訓練	
3月7日(土)	第6回ちびっこ運動会	新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策のため中止
3月15日(日)	卓球の集い	
3月24日(火)	ベーゴマ大会	
3月28日(土)	コミセンウォーキング	
奇数月第2火曜	生活習慣病予防料理講習会	
13回	運営委員会	
	オータムコンサート	
	明治150年プロジェクト	未実施
	体育室音響設備改善プロジェクト	
	オリパラ検討プロジェクト	

※コミセンデー

2019年度活動報告

■活動の目的・活動評価の指針

活動の目的

- イベントを機にコミセンに来て知ってもらおう。
- イベント内で交流して顔見知りになってもらう。
- 既存サークルと関係のあるイベントからサークルと繋がってもらおう。
- コミセンに関心を持ってもらう。

短期指針

- オープン化：利用者制限など排他的な部分を取り除き誰もが利用・参加できる地域に開かれたコミセン・協議会にする。
- 利用者目線、未利用者目線：利用の幅・利便性を広げ、未利用者のきっかけづくりと、コミュニティ活動を豊かにする。

活動評価の指針

- 人と人・人と団体・団体と団体のつながり(知る・参加する・協力する)ができたか
- コミセンを知ってもらえたか
- コミセンに来てもらえたか

■コミセンの運営(ソフト面)

運営要綱の改正

- 窓口担当者の定年を73歳から満75歳に変更した。運営委員の活躍の期間を拡大した。

利用について(利用規則)の改正

- 政治的利用・宗教的利用の制限を削除した。
- 調理室の利用制限を緩和した。(調理したものの持ち帰り解禁)
- 敷地内を完全禁煙とした。
- 無断キャンセルに対する罰則を緩和した。(予約の取り消しをやめた)
- 学習室・体育室・視聴覚室で飲食禁止していたのを緩和した。→学習室・体育室では飲み物を飲むことにした。視聴覚室は引き続き飲食禁止。
- 体育室の予約時最低利用人数の緩和検討した。→2か月試行結果より緩和しないことにした。

その他

- 従来、選挙当日だけではなく準備日(前日)も終日閉館していたところ、午前の部は通常開館するようになった。
- 会議室が利用されていない場合は当日利用の学習室として利用できるようにした。

■コミセンの運営(ハード面)

- バasketゴール修繕
- 体育室ステージの使用終了(動力部の老朽化と部品の調達が困難なことから)
- 通信カラオケの導入
- 更衣室のシャワー機能を取り除き、倉庫として使用することにした(体育室ステージ内に保管していたパイプイス保管場所確保のため)
- 2020年度にフリーWi-Fiサービスを半年間試行導入することにした。
- 利用が少ないためコピーサービスを終了した。

■イベント

4月13日(土) 住民総会

参加人数：63名

桜堤ケアハウスの村田施設長を議長に迎え開催した。議案書には活動報告を従来のリストに加えて文章で様子を書き込んだ。特に新しい活動についてと従来から変わった点は詳しく書いた。リストへ掲載する項目についても、従来の事業費由来のイベントに加えて協議会の活動全般とした。建物の利用状況については各月・各部屋の合計利用人数のみを示していて、そこから得られることはそんなに多くない。手っ取り早いところでは経年による比較や、時間帯別の利用率、曜日による利用率、などが考えられる。またグラフによる可視化があるとよい。決算書については金額だけでは見えてこない。主な使い方が示されている方がいい。会議自体は滞りなく進み、質疑で第二会計を貯めている目的を尋ねられた。住民総会の後には、旧くぬぎ園跡地に建設中の福祉施設の説明会を行った。

5月11日(土) 第13回武蔵境ピクニック

参加人数：561名(チェックポイント通過人数)



スタンプラリー

う意見もあった。多くの人がコミセンに立ち寄ったことで新しく知ってもらえたこともあったのではないだろうか。

他団体からなる実行委員会形式で企画運営しているイベント。主にプレイス前広場でのステージと境地区をぐるっと一周歩くスタンプラリーで構成されている。当協議会はスタンプラリーのチェックポイントとゴールでのスタンプ確認作業で参加した。スタンプ確認作業は境南・桜堤・西部の協議会が担当し、ゴールする人と挨拶したりくじ引きの案内をした。「あ、コミセンのおじさんだ」と子どもたちから声をかけられたりもした。コミセンの宣伝にもなっている。西部コミセンの場所が分かりづらかった迷ったとい

5月15日(水) 地域懇談会＋交流会

参加人数：28名

利用者懇談会から地域懇談会へと名前を変えてから2回目。まだまだ利用者からの意見でほぼ埋められている。しかし、地域へ意見交換の窓口を開いていることはとても重要だ。今回も意見はあまり出なかったものの地域の人数が意見を聞きに参加していただけた。主な意見としては下記のものが挙げられた。

- 境山野緑地の皆伐情報提供
- 卓球器具の利用が雑なので管理方法を検討してほしい
- 灰皿の位置を変えてほしい
- 調理室一般利用中に協議会で冷蔵庫を使わないでほしい
- 麻雀牌を預かって欲しい
- 通信カラオケを導入してほしい
- 文化祭などサークルに限っているようではサークル協議会ではないか
- 武蔵野市も丁目ごと町会・自治会をつくるべきではないか

別途出席できなかつた方から文書で下記の意見があった

- 子ども向けパンフレットや子育て家庭向けのパンフレットを作るといい
- SNSの目的はコミセンと地域の皆さんとの双方向のコミュニケーションを充実させて魅力あるまちづくりにつなげることにある

6月15日(土) 第9回コミセンまつり

参加人数：893名



二小のこどもばやし

武蔵境ピクニックで西部コミセンの場所が分かりづらいという意見があったので「イベント開催中」のようなのぼり旗をバス通りに立てようとしたが道路にかかるのぼり旗は立てられないということで断念した。当日はあいにくの雨だった。これまで長年コミセンまつりをやってきて今まで雨は経験したことがないとのことだった。前日から雨対策を考え配置の変更等の対応をした。来客も少ないだろうということで路上の模擬店で室内に移せるものは移し、傘

立てなども増量してより広いところに変更した。床も濡れると滑るのでモップを用意し、雑巾も大量に用意した。蓋を開けてみると、開館前から子どもたちが玄関に並び開館とともになだれ込んできた。雨の中模擬店にも行列ができるほどの盛況ぶりだった。雨にも関わらず模擬店のうちどんどん作れるものは午前中に完売してしまった。来年は増量しないと午後から参加してくれる人たちが食べるものが無くなってしまう。雨天でもある程度の人数が参加してくれることが分かった。今回、お菓子のつかみ取りとスタンプラリーをセットにしたため、各アトラクションにも人が流れて良い効果が得られた。

6月28日(金) パソコンセミナー

参加人数：10名

昨年は3回連続講座でメールの使い方を行ったが、今年は昨年末に行った年賀状作りと同様な暑中見舞い作りを行った。参加者各自各々のパソコンを持ち込んで行ったためOSやWordに違いがあり、やや困難なところもあった。家で作業をすることを考えると、それでも持ち込みパソコンでやってよかったと思う。参加者からは無料(民間の教室では結構な金額を取るらしい)で学べて概ね良かったと感想が寄せられたが、一方でフリーWi-Fiが無いことへの不満の声もあった。西部コミセンに初めて来たという方が2組いた。

7月4日(木) 防災訓練

参加人数：19名

→ 総務防災部の報告を参照

7月7日(日) カラオケ大会

参加人数：76名



熱唱！カラオケ大会

利用サークルのカラオケ花水木さんが中心となって組み立てられているイベント。毎年恒例となっていて、準備から本番まで手慣れている。歌われた方は昨年の35名から38名に増えた。この時点では通信カラオケがまだ導入されておらず、音源の準備など利用サークルさんのご協力なしには運営できない。利用サークルさんと協議会が協力し合うよいパターンではないだろうか。

7月23日(火) 夏休みコミュニティ食堂Part1

参加人数：57名（財団：8名、協議会：7名、一般：42）



J:COMで放送された様子（参加された方は映って
るかも）

給食・食育振興財団としては3年目、西部では2年目の事業。昨年度課題と感じていたチラシのターゲットを小学生低学年から全小学生に変更した。そのおかげか7/1から募集をして3日には36名の申し込みがあった。献立はエビのかき揚げが付いた糧うどん。小6男子の元気な給食式「いただきます」号令から始まり、途中、どこの国の料理かクイズ、デザートおかわり争奪ジャンケン大会を挟んで、お腹いっぱいになって終わった。協議会の関わり方として、運営委員が各テーブルに盛り上げ役として1人入ったが、必ずしも上手くいったとはいえない。



この回は J:COM の取材が入った。このときの様子は YouTube でご覧になれます。

「むさしのシティニュース 令和元年8月15日から放送分」9分42秒から。 <https://www.youtube.com/watch?v=WySaHuhqPX0>

8月28日(水) 夏休みコミュニティ食堂Part2

参加人数：62名（財団：8名、協議会：10名、一般：44）



夏野菜カレー

市広報誌の裏表紙に大きく宣伝が入り、予約開始数時間で定員がほぼ埋まった。当日は食堂が始まる12時より30分前に、財団の方たちのプチイベント、一口大にカットした食パンに様々な具をトッピングしてオーブントースターで焼くというものがあった。忙しくて朝食を取れない家庭でも子どもだけで朝ごはんを作れるようになれないかという考えだ。始めは尻込みする子どもたちを盛り上げてのスタートだったが、結局は大人も引きずり込んでほぼ全員が参加していたようだ。具の組み合わせもスタンダード

から有り得ないようなものをノリで作ったり、友達親子でツッコミ入れたり楽しんでた。メインの食堂の献立は財団定番のカレーで夏野菜カレー。食堂の盛り上がりは割愛する。印象に残ったのは、財団がまとめてくださったアンケートの中に「普段、家族二人で食べることが多いので楽しかった」旨の感想があり、元々、子どもたちの孤食を改善しようと始まったイベントだが、孤食以外にも効果があるこ

とが分かった点だ。みんなで食べることの効果に驚いた。一方で、こういう場に参加できない人たちが一定数いることも事実で、学校でもない第三の場所としてのコミセンの機能、これはコミュニティ協議会が学んで考えていくこれからの課題なのかもしれない。

9月7日(土) フレイル体操

参加人数：13名

桜堤ケアハウスさんが主になって開催されているイベント。今年で何度目かで、フレイルとは何か、フレイルの生活に与える影響、健康寿命を伸ばす重要性、どんな筋トレがどの筋肉を鍛えてどの運動機能の役に立つのかを学び、実際に試してみた。内容はなかなかよいのだが、広報が足りないのか、ニーズがないのか、人の集まりは良くない。広報の仕方を変えていく必要がある。それから内容がいいものであっても、プログラムの参加者の交流に繋がらない。協議会としては交流ができるプログラムに変えていく工夫が必要だ。内容がいいだけに非常にもったいない。

9月21日(土) ボッチャ大会

参加人数：20名



ボッチャ大会

8月末に開かれた「ボッチャむさしのカップ」の準優勝したチームを迎え、小学生から高齢者までがゴチャまぜになって対戦した。ボッチャを初めての人も、スポーツ推進員の方が丁寧にルールを教えてくれていた。技術については教えるというよりはゲームをしていく中で勘所を掴んでいくので誰でもすぐに参加できるのがいい。対戦結果は1位が同点で2チームあった。ボッチャでは同点のとき、センターにジャックボールを置いて両チーム一投ずつボールを投げジャックボールに近い方の勝ちとする。優勝は期待されたとおりむさしのカップ準優勝の小学生チーム「ガンバ桜野」のメンバーが入ったチームとなった。2位は初心者で作った大人チームだった。ボッチャはまだ知名度の低いスポーツだが、やってみるとみな楽しいし、異年齢交流にちょうどよい。

8月末に開かれた「ボッチャむさしのカップ」の準優勝したチームを迎え、小学生から高齢者までがゴチャまぜになって対戦した。ボッチャを初めての人も、スポーツ推進員の方が丁寧にルールを教えてくれていた。技術については教えるというよりはゲームをしていく中で勘所を掴んでいくので誰でもすぐに参加できるのがいい。対戦結果は1位が同点で2チームあった。ボッチャでは同点のとき、センターにジャックボールを置いて両チーム一投ずつボールを

9月30日(月) 石鹼を手作りしてみよう

参加人数：12名



おしゃべりは止まらない

生活において身近な石鹼を作りながら、参加者同士の交流を図ろう。廃油の再活用方があることを知ってもらおうという目的で、サラダ油と苛性ソーダを用いて、本格的な手洗い洗濯用の石鹼を作った。苛性ソーダは身近な薬品ではあるが、扱いによっては危険な面もあるので作業前に十分に注意点を説明をした。各自安全に配慮して作業を行うことができた。作業工程自体は少ないのでおしゃべりしながら楽しく行えた。参加者の方達は初対面だったにもかかわらず、最後はすっかりうちとけて、コミセンに新しく導入された通信カラオケで歌っていこうかという話にまで盛り上がっていた。

10月6日(日) 気功・太極拳交流会

参加人数：51名



気功・太極拳交流会

ちょっと前の自分から、より良い新しい自分になれたのではないのでしょうか？新しい自分にこんにちは！最後に陳式太極拳の剣の表演を見て、満足感いっぱい体育室をあとにした。

10月26日(土)～27日(日) 文化祭

参加人数：1,309名



地域の方々の作品展示

事業の質は参加人数で計れるものではないが、大勢が集まり活気を共有することが地域のつながり感を育てるとも考えられる。前年度他コミセンを回って感じた模擬店の重要性から、今年度は模擬店を増やすことを試みた。ワークショップも工夫を加えた。結果として、地域の人口増の要因もあるだろうが、当日他であったイベントによる影響も考えると、参加者30%増はイノベーションの効果があったのかもしれない。展示・芸能・ワークショップの内容としては、展示・演芸については例年通りで、出展・出演者と来館者とのつながりはアンケート。ワークショップについては、普段から手作り作品でコミセンを飾ってくれている利用者の一人に声をかけ、講師をしてもらったり手伝ってもらったり工夫した。さらに来館した第三者とワークショップという環境のおかげで交流を持てたのは、コミセンとしては大変意味のあることで、内輪受けカラーが強かったイベントからコミュニティづくりの場にシフトしはじめた。

11月7日(木) 運営委員研修

参加人数：25名



4人1テーブルでワークを入れながら進んでいく

コミュニティ協議会に限らず会議や話し合いの内容次第で楽しいものになったり退屈なものになったりする。研修の前半はファシリテーションとは何なのかを習い、後半はやや実践的に会議などの話し合いを上手く進めるための技術を教わった。「話し合い」はコンテンツとプロセスに分けることができ、ファシリテータはコンテンツではなくプロセスに対して調整を行うことや、会議を実のなるものにするための「会う・議する・決する・動く」への具体的な考え方や行動を教わった。参加者からは、(学びとして)面白かった、会議だけでなく日常にも活かしたい、など研修で知識とやる気(自信)を得た感想が得られた。こういう学びを続けることによって、今後、この力が武蔵野市の市民活動に繋がっていくことが期待される。学びは市民活動への活動力や入り口になることから、新しく学んだ人が運営委員としてコミュニティづくりに参画することも期待し、運営委員への以外にも研修は広げていくべきだと考える。し

かし、学びのプログラムを企画・運営するのはけっこうしんどい。行政の技術的支援や教育委員会の地域コミュニティを意識した独自のプログラムにも期待したい。

11月10日(日) バドミントンの集い

参加人数：34名



大人と子どものペアで試合形式で行ったが、コミセン利用者のバドミントンサークルさん4団体に、審判や進行、見守りなど手伝っていただきありがたかった。年々、バドミントン参加者のレベルが上がっているのは、バドミントンサークル活動が盛んなこと、こどもの時間やバドミントン貸し出しなどでバドミントン人口が増えていると考えられる。お一人で参加されていた女性の方が、集いの終了時に連絡先交換して、コミュニティの幅が広がって

て、良かった！

11月22日(金) パソコンセミナー

参加人数：11名

マイPCを持ち込みの方やお持ちでない方も多数参加され、それぞれ指導を受けながら年賀状作成した。初めてPCソフトを扱う方もいる中、年賀状を完成することができた方も数名いて、楽しいセミナーとなった。

12月7日(土) 年末大掃除

参加人数：80名



体育室倉庫の物を全部出して掃除する

運営委員・協力員・多くの利用者様のご協力のおかげで一年間たまった汚れを掃除することができました。また一年大切に使いましょう。

1月6日(月) いけ花実演

参加人数：21名



今年も草月流の後藤麗美先生にいらしていただいた。花や松を選んでくれているのも先生で、選んだ理由やいけ花の解説があったり、質問や感想など話しているうちに完成しました。使ったのは、ポンポン菊・カサブランカ(ユリ)・ヒペリカム・ロウバイ・根引き松・ツバキ。正月の玄関がしばらくの間華やかになった。

1月7日(火) 工作の会

参加人数：25名(15+4+6)



もうすぐ完成！

昨年度は彦一凧という立体的でやや作るのが難しい和凧だったが、今年は少し簡単にできる四角いものにした。低学年が中心だったので簡単なものにしてよかったのかもしれない。飛び入り2名を含め想定していた人数より多く、昨年のようにダラダラとおしゃべりメインとはいかなかった。材料の配布や教えるのが忙しくなってしまった。もう少し大人が参加してくれれば教え合ったり手伝ったりより交流が生まれたかもしれない。それか規模を小さくするのがいい。それでも、おやつタイムでは異年齢の子たちがい

っしょに遊んだり、付添の大人たちとスタッフでおしゃべりができたのはよかった。

1月18日(土) どんど焼き(桜野小)

1月19日(日) どんど焼き(二小)

1月25日(土) 健康づくり出前講座

参加人数：10名

「災害から考える体力づくり」というタイトルで、阪神・淡路大震災や東日本大震災を例に挙げ災害時にも体力が必要なことを学びながら効果的な運動を体験しながら教わった。健康づくり支援センター様には事前に災害時のグッズ(運動に使う)を用意してもらったり準備をしてもらったにも関わらず参加者が少なかったのがもったいなかった。

2月12日(水) バレンタイン@コミセンカフェ

参加人数：30名



内容:2月12日水曜日12時から3時 コーヒー+お菓子100円を30個限定で提供する。(今回のお菓子はベルンのバレンタイン限定のミルフィーユ)

- コミセンカフェ用のお菓子の提案が運営委員からあり、バレンタイン限定のお菓子を提供することができた。とても好評だった。
- 普段の水曜日に比べ、活気のあるロビーになっていた。(※ここ3ヶ月の1日のコーヒー提供数の平均は27カップ。水曜日の平均数は22カップ。当日はコーヒーのみでも22カップ出ていて、コミセンカフェの30個は上乗せになっている。)
- スポーツ後のグループが3組ほど、お子さん連れのママさんグループが3組ほど、コミセンカフェを利用し、おしゃべりを楽しんでいるようだった。

2月26日(水) 味噌づくり(コミセンデー)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

2月27日(木) 運営委員研修

映画「ケアニン」の上映を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

3月5日(木) 防災訓練

バス見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。→総務防災部の報告を参照

3月7日(土) 第6回ちびっこ運動会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

3月15日(日) 卓球の集い

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

3月24日(火) ベーゴマ大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

3月28日(土) コミセンウォーキング

西部コミセンからのスタートし杵築神社まで歩き、武蔵野市の文化財に指定された石碑を学ぼうという企画だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しました。

奇数月第2火曜日 生活習慣病予防料理講習会

参加人数：延べ55名

武蔵野市との共催で、協議会は申込受付と当日受付を担当している。今年度のプログラムと参加者数は下記のとおりだった。

- 5/29 炊飯器で楽々料理（10名）
- 7/3 アジアンご飯で食欲増進（8名）
- 9/25 酢パワーで健康に（8名）
- 11/27 飲茶で栄養バランスを（10名）
- 1/29 手作りほうとうで体を温め免疫力アップ（9名）
- 3/4 魚介類を美味しく食べて認知症予防（中止）

実施できなかった事業

- 明治150年プロジェクト
- 体育室音響設備改善プロジェクト
- オリパラ検討プロジェクト
- オータム・コンサート

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため実施できなかった事業については、可能であれば新年度に実施する。

■広報部

むさしのFM「マイシティむさしのゲストトーク」出演

西部コミセンの担当は6月21日・10月18日・3月13日の計3回。6月はカラオケ大会・コミュニティ食堂・石鹸作り、10月は文化祭・バドミントン大会、3月は住民総会と運営委員募集の宣伝を行なった。

西部コミセンニュース発行

今年度は「年3回発行」を目標に85号(10月)、86号(1月)と順調に発行したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置によるコミセン業務停止のため、87号(3月)の発行が叶わなかった。また、運営委員・協力員の高齢化によりニュース配布のお手伝いが足りず、配布できない地域が発生してしまったのが今後の課題である。



市報むさしのコミュニティ・レポート寄稿

市報むさしの5月15日号「3階ギャラリー」、12月1日号「コミセンでパーティーしよう！」計2本のコミセンの利用を促す内容のコラムを寄稿した。

自主企画イベント事業におけるポスター・チラシの作成

今年度はポスター・チラシの作成にも力を入れた。



SNSによる情報発信の強化

イベント事業の事前広報はもとより、ツイッターの即時性を活用し、コミセンまつりや文化祭のイベント進行や模擬店情報などを伝えることができた。また、アクシデントによる一部施設の使用中止のお知らせや、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置によるイベント中止や休館のお知らせなどを、担当課の指示通り速やかに広報することができた。



西部コミセン公式ツイッター

<https://twitter.com/seibukomisen>

ホームページの再構築

昨年度に引き続き、使い勝手が良くデザイン性が高いホームページになるよう、リニューアルを検討中。

その他

- 7月23日夏休みコミュニティ食堂開催の際、市の広報番組「マイシティむさしの」の取材を受ける。J:COMチャンネルで8/1～14間放送された他、市の動画チャンネルでの動画配信も行われた。
- 7月24日地域の大学生を中心に編集されているローカル情報誌「iisakai(いいさかい)」夏号の取材を受ける(「大学生に聞いたアレコレ『よく利用する施設』」)。

■総務防災部

組織について

総務防災部(防災)は総務部の中で防災を担当する。一堂に会する機会が少ないため、メールやスマホも活用して意見交換と意思統一をしてきた。

今年度の活動

(1) 第1回防火防災訓練 7月4日(木)館内総点検を実施した。参加者全員で館内各室と敷地内を全員で巡回し、防火・防災設備を中心に、施設の実態を点検した。また事務所内では、各種の機器の取り扱い方について、再度確認した。

(2) 第2回防火防災訓練は中止 3月12日(木)に本所防災館の見学と体験(地震、煙)を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による防災館の臨時休館のため中止した。状況が改善されれば再度計画したいと考えている。

今後の課題

- 桜野地域防災ネットワークの諸事業には構成員として参加する
- 管内の防災組織(避難所運営組織、地域・団地・マンション等の自主防災組織)との連携
- 発災時を想定した、支え合いステーションの開設などの検討
- 自主防災組織、自衛消防隊などの検討

■総務

- 新年度になり運営委員の役割分担を作り直した。
- 通信カラオケを導入することになったので窓口担当者が集まり実機で使い方を学んだ。
- 年末大掃除に向けて掃除項目のピックアップと手順書を作った。
- 夜の退室と退館が曖昧だったため21:20退室、21:30退館ということを再確認し周知に努めた。
- コーヒーサービスは1日平均22.5杯(売上と開館日数から算出)提供した。
- 3Fギャラリーでは、脳イキキアートさんの作品と地域の方の折り紙、カンガルーママさんのパッチワーク、NoBu3Dデコアートさんのデコパージュを展示させていただいた。



- その他、会の活動がスムーズになるように努めた。

■課題

コミュニティ食堂にも書いたが、協議会のイベントは自分から参加してくる人ばかりだ。他方、地域には引きこもりなど地域に参加できないでいる人たちもいる。そういう人たちのつながりをどうするか、まだまだ課題がある。

部屋の稼働率向上もコミュニティ活動の活性化という意味で協議会の活動の一つ。特に夜の利用率が低く、17:30以降の会議室について利用方法の提案やイベントの開催など考えていく必要がある。

また、「コミュニティ」と「市民活動」と「学び」はそれぞれお互いに関係しあっている。それぞれを別のことと考えず活動すると相乗的な効果が期待できる。今後も引き続き協議会運営委員や地域の方が学びを楽しめる研修会があるといい。

ただし、現状の活動を維持するだけでも大変なことで、課題と認識しながらもなかなか難しい。

【様式5】(決算書)

令和元年度 決算書
西部コミュニティ

協議会】

■委託費の部

収入額	6,135,000
支出額	5,292,874
精算額	842,126

<収入> (円)

項目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	(A - B)
指定管理委託費	6,135,000	6,135,000	6,135,000	0
合計	6,135,000	6,135,000	6,135,000	0

<支出> (円)

項目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	(A - B)
窓口当番手当	5,935,000	5,935,000	5,168,280	766,720
修繕料	200,000	200,000	124,594	75,406
合計	6,135,000	6,135,000	5,292,874	842,126

■補助金の部

収入額	3,163,793
支出額	1,846,617
予備費	1,317,176

<収入>

項目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	(A - B)
市補助金	2,209,000	2,209,000	2,209,000	0
前年度繰越金(予備費)	954,735	954,752	954,752	0
雑収入	100	83	41	42
合計	3,163,835	3,163,835	3,163,793	42

<支出>

項目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	(A - B)
事業費	775,000	775,000	644,146	130,854
運営費	380,000	380,000	251,441	128,559
消耗品費	565,000	565,000	326,674	238,326
印刷製本費	500,000	500,000	396,489	103,511
通信・交通費	131,000	131,000	120,959	10,041
研連負担金	20,000	20,000	20,000	0
備品費	100,000	100,000	86,908	13,092
予備費	692,835	692,835	0	692,835
合計	3,163,835	3,163,835	1,846,617	1,317,218

令和2年4月4日

会計

梁井記代



会長

大上茂雄



上記の決算について監査の結果、適正であることを認めます。

令和2年4月4日

監事

田中雅文



監事

西堀廣子



【様式7】(特別会計決算書)

令和元年度 特別会計 決算書

【 西部コミュニティ 協議会】

収入済額	1,878,078
支出済額	1,878,078
次年度繰越額	0

<収入> (円)

項 目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	(A - B)
前年度繰越金	364,078	364,078	364,078	
前年度ピアノ繰越金	469,947	469,947	469,947	
前年度周年事業繰越金	334,329	334,329	334,329	
売上(ピアノ)	50,000	50,000	45,500	4,500
売上(自販機他)	120,000	120,000	114,465	5,535
売上(コーヒー)	80,000	80,000	312,350	-232,350
売上(カラオケ)	0	0	202,400	-202,400
雑収入	2	2	35,009	-35,007
合 計	1,418,356	1,418,356	1,878,078	-459,722

<支出> (円)

項 目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	(A - B)
修繕費	24,000	24,000	12,000	12,000
仕入れ	80,000	80,000	261,550	-181,550
支払手数料	0	0	216	-216
賃借料	0	0	55,000	-55,000
交際費	20,000	20,000	57,720	-37,720
次年度ピアノ繰越金	495,947	495,947	503,447	-7,500
次年度周年事業繰越金	334,331	334,331	334,329	2
次年度繰越金	464,078	464,078	653,816	-189,738
合 計	1,418,356	1,418,356	1,878,078	-459,722

令和2年 4月 4日

会 計

梁 井 記 代



会 長

大 上 茂 雄



上記の決算について監査の結果、適正であることを認めます。

令和2年 4月 4日

監 事

西 堀 廣 子



監 事

田 中 雅 文



2020年度活動計画(案)

開催日	活動名	備考
4月 18日 (土)	第39回住民総会	
4月 28日 (火)	健康づくり出前講座(中止)	
5月 16日 (土)	第14回武蔵境ピクニック(中止)	
未定	地域懇談会	
未定	第10回コミセンまつり	
未定	パソコンセミナー(1回目)	
未定	エンディングノートを学ぼう	
7月 5日 (日)	カラオケ大会	
7月 9日 (木)	防災訓練	
7月 29日 (水)午前	石鹸を手作りしてみましよう	
7月 未定	夏休みコミュニティ食堂	
8月 未定		
9月 未定	フレイル体操	
9月 未定	ボッチャ大会	
10月 11日 (日)	太極拳・気功の集い	
11月 7日 (土)~8日(日)	文化祭	
11月 14日 (土)	バドミントンの集い	
11月 20日 (金)	パソコンセミナー(2回目)	
12月 5日 (土)	年末大掃除	
1月 6日 (水)	活け花実演	
1月 8日 (金)	工作の会	
1月	どんど焼き(二小・桜野小)	
1月 26日 (火)	味噌づくり	
2月 4日 (木)	防災訓練	
3月 6日 (土)	ちびっこ運動会	
3月 14日 (日)	卓球の集い	
3月 24日 (水)	ベーゴマ大会	
3月 未定	コミセンウォーキング	
月1回(水)	コミセンカフェ	
月1回程度	おもちゃの病院	
未定	コンサート	
未定	運営委員研修会	
	コミセンデー(期首に計画されていないもの)	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止・延期になった事業は特例として2019年度の事業費を持ち越せることになった。

→ 卓球の集い:夏休み、ベーゴマ大会:コミュニティ食堂の日、コミセンウォーキング:秋
 ※4月~6月に予定していたものは全て開催時期未定とした。

令和2年度 予算書(案)

【 西部コミュニティ 協議会 】

■委託費の部

収入額	6,120,000
支出額	6,120,000

<収入> (円)

項 目	予算額	説明
指定管理委託費	6,120,000	
合 計	6,120,000	

<支出> (円)

項 目	予算額	説明
窓口当番手当	5,920,000	780円×306日×6人×4時間+延長
修繕料	200,000	
合 計	6,120,000	

■補助金の部

収入額	3,657,130
支出額	3,657,130

<収入>

項 目	予算額	説明
市補助金	2,209,000	
前年度繰越金	1,317,176	
前年度事業費繰越金	130,854	新型コロナウイルス感染症 予防により令和元年度実施 予定だった事業を令和2年に 実施するための繰越金
雑収入	100	受取利息等
合 計	3,657,130	

<支出>

項 目	予算額	説明
事業費	905,854	
運営費	360,000	
消耗品費	423,000	
印刷製本費	400,000	
通信・交通費	131,000	
研連負担金	20,000	
備品費	100,000	
予備費	1,317,276	
合 計	3,657,130	

令和2年度 特別会計予算書(案)

【 西部コミュニティ 協議会 】

収 入 額	2,201,592
支 出 額	2,201,592

＜収入＞ (円)

項 目	予 算 額	説 明
前年度繰越金	653,816	
前年度ピアノ繰越金	503,447	
前年度周年事業繰越金	334,329	
売上(ピアノ)	50,000	
売上(自販機)	120,000	
売上(コーヒー)	320,000	
売上(カラオケ)	180,000	
雑収入	40,000	
合 計	2,201,592	

＜支出＞ (円)

費 目	予 算 額	説 明
修繕費	412,000	ピアノ(調律+修理)
仕入れ	270,000	コーヒー
支払手数料	1,000	
賃借料	158,400	カラオケリース(13,200/月)
交際費	60,000	
次年度ピアノ繰越金	141,447	
次年度周年事業繰越金	334,329	
次年度繰越金	824,416	
合 計	2,201,592	

会則改正（案）

(1) 所在地と設立年月日

目的：銀行口座等開設時に必要なため

旧：

第1条 本会は、西部コミュニティ協議会（以下「協議会」）と称し事務所を、西部コミュニティセンター内に置く。

新：

第1条 本会は、西部コミュニティ協議会（以下「協議会」）と称し事務所を、西部コミュニティセンター（東京都武蔵野市境5丁目6番20号）内に置く。

2 本協議会の設立年月日を昭和58年5月14日とする。

(2) 運営委員選出の廃止

目的：運営委員会の都合で選出されない人があってはいけないため

旧：

第9条 運営委員は、第2条で規定される構成員より、運営委員会で選出し、総会で承認されるものとする。

新：

第9条 運営委員は、第2条で規定される構成員より、運営委員会が募集し、総会で選出される。

(3) 役員構成の変更

目的：役員の負担を分散軽減するため

旧：

第13条 本会は、その運営のために、次の役員を置く。
会長1名、副会長4名、会計1名

新：

第13条 本会は、その運営のために、次の役員を置く。
会長1名、副会長若干名（4名以上）、会計2名

(4) 上の改正の施行日を追記

附 則（令和2年4月18日）

この会則は、公布の日から施行する。

2020年度限定運営委員承認措置（案）

2020年度の運営委員募集については、募集の周知と受付の期間が新型コロナウイルス感染症拡大防止措置によるコミセン業務停止の期間と重なり十分な活動ができなかった。そこで、新型コロナウイルス感染症が収まった適当な時期に再度広く募集を行い、総会での承認(選出)を省いて運営委員会での承認(選出)をもってこれに代えることとする。

2020年度運営委員名簿(案)

■運営委員

	名前	住所	備考
1	赤間 照子	境5	
2	秋本 正	境1	
3	今井 和代	境2	
4	梅本 和男	境3	
5	大上 茂雄	桜堤1	
6	大上 由紀子	桜堤1	
7	大谷 和彦	桜堤1	
8	大鷲 美津江	境5	
9	川口 明子	桜堤2	
10	近藤 博子	境3	
11	酒井 尚登	境1	協力員より
12	佐藤 佳子	桜堤1	
13	三本木 由実子	桜堤1	
14	鈴木 康夫	桜堤1	
15	高田 幸子	桜堤1	
16	高橋 淳子	境3	
17	高橋 幸代	桜堤2	
18	竹内 登	境3	
19	田中 雅文	境4	
20	田村 仁良	桜堤1	再
21	土屋 清枝	境5	
22	鶴田 仁美	桜堤2	
23	西堀 廣子	桜堤2	
24	西村 咲穂里	境5	
25	平野 薫	境1	
26	武藤 聖子	桜堤2	
27	村野 ゆり子	境3	
28	梁井 記代	境3	
29	山崎 香奈子	桜堤2	
30	山谷 美和	境4	
31	横山 勇	桜堤2	

■役員

会長	大上 茂雄
副会長	大鷲 美津江
副会長	平野 薫
副会長	山崎 香奈子
副会長	横山 勇
会計	梁井 記代

■監事

監事	田中 雅文
監事	西堀 廣子

役員及び監事は2020年度のみ1年間の暫定。詳細は、別紙「役員及び監事の暫定的体制について(報告)」参照。

西部コミュニティ協議会会則

本協議会は、市民の市政参加による武蔵野方式により、地域住民の住民による住民のためのコミュニティづくりを目指します。

生活環境（道路・緑化・地域改造）や、教育・文化・健康問題をみんなで考え話し合い、私たちの街として誇れる明るいまちづくりを進めましょう。

そのために、私たち一人一人が集いに参加してまちづくりの担い手となりましょう。

（名称・所在地）

第1条 本会は、西部コミュニティ協議会（以下「協議会」）と称し事務所を、西部コミュニティセンター内に置く。

（構成）

第2条 本協議会は、桜堤・境全域を対象としその住民をもって構成する。

（目的）

第3条 本協議会は、地域住民相互の交流と文化・スポーツの諸活動を通じて明るく、豊かな街づくりを進めることを目的とする。

（事業）

第4条 本協議会は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- （1） 地域住民のコミュニティ活動に関すること。
- （2） コミュニティセンターの管理運営を行う。
- （3） その他目的達成に必要な事項。

（組織）

第5条 本協議会は、総会・運営委員会・役員会をもって運営する。但し必要に応じて、専門部会を設けることが出来る。

（総会）

第6条 総会は、地域住民全体を対象とし、年1回の定期総会及び必要に応じて、臨時総会を開く。

第7条 総会は、市報を通じて招集し、当日の参加をもって、議事を進行する。

第8条 総会は、次の事項を審議する。

- （1） 事業報告・事業計画及び決算・予算並びに監査報告。
- （2） 運営委員、監事及び役員承認。
- （3） その他の提案事項

（運営委員）

第9条 運営委員は、第2条で規定される構成員より、運営委員会で選出し、総会で承認されるものとする。

（運営委員会）

第10条 運営委員会は、運営委員をもって構成される。

第11条 運営委員会は、必要に応じ、会長が召集する。

第12条 運営委員会は、次の事項を審議する。

- （1） 総会に提案すべき事項。
- （2） 第4条に定めた事項に関する必要な事項。
- （3） 運営委員、監事および役員の人事に関する必要な事項。
- （4） 運営要綱の制定・改訂に関すること。

（役員会）

第13条 本会は、その運営のために、次の役員を置く。

会長1名、副会長4名、会計1名

2 役員は運営委員で互選し、総会で承認するものとする。

第14条 役員会は、前条の役員をもって構成し、必要に応じ会長が招集し必要事項を審議する。

第15条 役員の仕事は次の通りとする。

(1) 会長は、本協議会を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代行する。また、庶務全般の統括、事業、書記および会計事務を分担して担当する。

(3) 会計は会計事務を担当する。

2 会長は、運営委員の中より、窓口担当者を任命する。

(監事)

第16条 本会は、監事2名を置く。監事は運営委員で互選し総会で承認するものとする。

2 監事は会計及び事業の監査を行い、その結果を総会に報告する。

(議決)

第17条 本協議会の会議の議決は、出席者全員の合意を原則とするが、止むを得ぬ場合は、出席者の過半数の賛成をもって成立する。

(役員及び監事の任期)

第18条 役員及び監事の任期は、2年とする。但し再任は妨げないが同一役職は3期までとする。

2 補欠により就任した役員及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。

(会計)

第19条 本協議会の会計は、武蔵野市よりの補助金及びその他の寄付金等をもって充てる。

第20条 本協議会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日をもって終わる。

(会則の改廃)

第21条 本会則の改廃は、総会の議決による。

付 則

本会則は、昭和58年5月14日より施行する。

一部改正。昭和60年3月24日、昭和62年4月5日、平成3年4月28日、平成4年4月19日、平成5年4月25日、平成13年4月22日、平成22年4月25日、平成23年5月1日、平成24年4月22日、平成26年4月20日、平成29年4月15日。

■添付資料

- 西部コミセン利用状況（月・部屋別利用人数）
- 西部コミセン利用状況（月・部屋別利用回数）
- 2019年度活動報告（一覧）
- 2019年度活動報告
- 2019年度決算書
- 2019年度特別会計決算書
- 2020年度活動計画（案）
- 2020年度予算書（案）
- 2020年度特別会計予算書（案）
- 会則改正（案）
- 2020年度限定運営委員承認措置（案）
- 2020年度運営委員名簿（案）
- 西部コミュニティ協議会会則

西部コミュニティ協議会

〒180-0022 武蔵野市境5-6-20

☎ 56-2888（9:30-21:00）

✉ seibu-c@bz04.plala.or.jp

🐦 @seibukomisen

🌐 <https://seibu-c.sakura.ne.jp/>

西部コミュニティ協議会はまちづくり・コミュニティづくりを目的とし西部コミセンを拠点として活動する団体です。

令和2年4月10日

役員及び監事の暫定的体制について（報告）

西部コミュニティ協議会

監事 西堀 廣子

監事 田中 雅文

西部コミュニティ協議会では、会則及び運営要綱に基づき、運営委員の互選により次期の役員候補者を決め、次期の役員候補者の互選によって次期の会長候補者を決定することになっている。しかし、2020年度の会長候補者の決定については、上記の手続きによって十分な検討を行ったものの、結論を得ることができなかった。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、新たな役員体制になった場合には新旧役員の引継ぎを十分に行うことが困難であるものと予想される。

以上の理由により、運営委員会は、1年間のみの暫定措置として、2019年度の役員を2020年度役員候補者とすることを決定した。これに伴い、監事についても1年間のみの暫定措置として、2019年度の監事を2020年度の監事候補者とすることを決定した。

ただし、会則によれば同一役職の任期は3期までとすることになっており、監事の一人は2020年度も務める場合にそれを超えることになる。したがって、このような暫定措置はあくまでも今回限りとし、今後は会則に準拠して役員及び監事の候補者決定を行わねばならないことを付記するものとする。

以上